

国営武蔵丘陵森林公園
民間投資・官民連携による里山管理に関するサウンディング型市場調査
質問に対する回答

今回のサウンディング型市場調査（以下、本調査）」は、事業化の可能性や事業条件、アイデアについて、民間事業者の皆様から幅広いご意見を頂き、事業の具体化を図ること目的であり、本回答は現時点での事務局の考えを示したものです。

令和6年12月3日

No	資料名	頁	項目	質 問	回 答
1	資料1 里山管理に関する資料	1	入園者数の推移	来園者数のピーク以降春季や秋季の来園者数が減少傾向である理由は何か。	春季、秋季は公園入園者数のボリュームゾーンであることは変わりませんが、ピーク時と比べて春季や秋季の来園者数が減少している明確な要因は不明です。ただし、要因の一つとして、近年の気候変動に伴う猛暑や豪雨、来園者の嗜好・レクリエーションの多様化などが考えられます。
2	その他	—	—	夜間開園の可能性はあるか。	本事業スキームを実現するにあたって、官民双方にとって必要性があれば夜間開園の可能性もございます。
3	実施要領	7	(7)	調査結果については、HP等で公表することになっていますが、その後の、当該提案内容についての採用・不採用に至る方向性（検討方法とタイムスケジュールなど）を教えてください。	本調査は、民間投資・官民連携による里山管理の実現に向けて、事業化の可能性を探ることを目的としております。その後の検討方法やスケジュールについては、民間事業者の皆様との対話なども踏まえ検討させていただきます。